

場 所		分 類		被ばく低減対策好事例集			
原子炉建屋内	R B	T B	2 5			①	時間
タービン建屋内	ⓑ					②	距離
R ZONE	R					3	遮へい
Y ZONE	Y					4	線源の除去
G ZONE	G					⑤	遠隔、ロボット化
その他 ()	Z					6	汚染拡大防止
				7	その他	番号	0 2 - 0 8 - 0 3
内 容		1 ～ 4 号機 建屋内滞留残水排水設備設置における被ばく低減					
作業場所		3 号機タービン建屋サービスエリア					
概 略		地下階は、高線量かつ滞留水があり、人力による作業が困難であるため、遠隔工法による筋肉ロボットを採用し、操作エリアは低線量エリアに設置した。					
評 価 (定性・定量)	効 果		対策前	対策後			
		線量率 (mSv/h)	0.40	0.013			
		人工数 (人日)	—	—			
事例詳細		低線量エリアに筋肉ロボット操作エリアを設置した。					

インストールエリア
~0.40mSv/h

操作エリア

ロボット稼働エリア
50mSv

ロボットは低線量エリアに設定した本部で操作

操作エリア：~0.013mSv/h

操作者の被ばく線量低減